

# 平成30年度 事業報告

## 主な事業概要について

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年の『今年の漢字』（日本漢字能力検定協会）には『災』の字が選ばれるなど、西日本豪雨、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、台風21号等、自然災害の脅威を相次いで痛感しました。

西日本豪雨時、岐阜県内各地でも土砂流出や道路の冠水、河川の護岸崩壊などの被害が相次ぎ、長良川では戦後最大である平成16年10月洪水以来の大規模出水となり、長良・大宮陸閘が14年ぶりに閉鎖される異常事態となりましたが、有事の際における建設業の迅速かつ的確な対応と、昼夜を問わない決死の作業により、被害を最小限に抑えることが出来ました。

当協会の活動としては、8月に技術発表会を開催し、各技術委員会より日々の研究成果を発表することで、効率的かつ有効な手段の提案・提言を行う公益機関としての役割を改めて共有する機会とし、建設技術講習会については、岐阜大学、岐南工業高校、可児工業高校の3校にて実施しました。また、建設業における人材の確保・育成を今まで以上に図るため、『ぎふ建設人材育成・確保連携協議会』へ入会しました。

岐阜社会基盤研究所の研究発表会では、『深礎杭の環境共生無人化システムの実用化開発研究』と題して発表を行い、自由討論会では、『管路更生工法の調査及び検証』の発表を行いました。また、岐阜県自然共生工法研究会の事例発表会では、『海外・日本各地のグリーンインフラの事例』を発表するなど、産官学の各共同研究を通じて、他分野のノウハウや知識収集、人脈の形成、技術力向上に繋がるよう努めました。

### トンネル技術委員会

#### 1. 活動方針

トンネルの維持修繕や環境問題及び新工法に関して調査研究を行い、県内業者の技術力向上を図る事と、適正工法の研究等を行う事で、トンネル施工のより質の高い社会資本整備・公共福祉の増進に寄与する事を目的としました。

## 2. 活動内容

県内業者の技術力向上の為に、以下のような活動を行いました。

### I. 技術発表会（当協会主催）への参加

一昨年より取り組み始めた『トンネルの長寿命化』について、劣化区分Ⅲ判定を受けたトンネルの変状を分析し、劣化・損傷の原因を発表しました。

### II. 建設技術講習会への参加

岐阜大学工学部 社会基盤工学科 2年生 62名を対象に『社会基盤を支えるトンネル技術者』というテーマで講習を行いました。

### III. 岐阜社会基盤研究所 自由討論会及び報告会への参加

岐阜大学サテライトキャンパスで開催された岐阜社会基盤研究所の自由討論会に参加しました。

## ダム技術委員会

### 1. 活動方針

ダム工事及び砂防堰堤工事に関する新技術・新工法・環境対策等の調査研究活動の実施、既存堰堤の維持、管理のあり方について、調査研究し会員相互の技術力向上を図る事を目的としました。

### 2. 活動内容

#### I. 現場見学会の開催

砂防堰堤における新技術等の情報収集のため、山口市・揖斐川町の2箇所において現場見学会を実施しました。

#### II. 技術発表会（当協会主催）への参加

「砂防堰堤及びダム工事の現状」というテーマで、砂防堰堤とダム工事に関する施工事例について発表しました。

#### III. 建設技術講習会への参加

可児工業高等学校 建設工学科 1・2年生 27名を対象に『環境にやさしいダム造り』というテーマで講習を行いました。

## 下水道技術委員会

### 1. 活動方針

近年、下水道施設の劣化が進み、耐震対策及び維持・修繕（更生）の課題が多い中、新技術等を採用した施工が県内企業にて出来るよう考案・研究し、技術力の向上を目的としました。

### 2. 活動内容

#### I. 下水道の維持・修繕（更生）工事に関する施工方法の検討

管更生工法や各施設の修繕方法の情報収集を行い、新技術を研究し、技術力の向上を目指しました。

#### II. 自然災害に対応した、下水道の検討

県内企業で出来る新技術（製品）の施工習得のため、情報収集を行い、研究し各委員の技術力向上を目指しました。

#### III. 施工・製品の新技术の開拓

各講習会や展示会などに各委員が積極的に参加・取り組みを行い、有益な情報を取得し、研究テーマに活かしました。また、研究テーマの施工中である現場見学を行い、実際の施工方法や現場の作業員の声を聴き資料収集を行い、今後の研究に活用しました。

#### IV. 建設技術講習会への参加

岐南工業高等学校 土木科 1・2年生 78名を対象に、『子孫に残そう美しい環境』というテーマでわかりやすく動画をまじえ講習を行いました。

#### V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『下水道管の再構築(管更生工法)』の発表を行いました。

#### VI. 岐阜社会基盤研究所の研究

岐阜社会基盤研究所の研究として、市町村へのアンケートを実施し集計し、検討しました。

## 橋梁技術委員会

### 1. 活動方針

県内建設企業の技術力向上を目指すと共に、会員相互のコミュニケーションをはかり、情報交換を密にして、発注者に対して技術力をアピールし、地域への貢献につながるよう活動しています。

### 2. 活動内容

#### I. 高速道路リニューアル工事の現場見学会

大規模床版取替工事の現場見学会を行いました。

#### II. 建設技術講習会への参加

岐南工業高等学校 土木科 1・2年生 78名を対象に、『橋梁とは！？』というテーマで講習を行いました。

#### III. 技術発表会（当協会主催）への参加

『小規模橋梁の点検修繕について』の発表を行いました。

#### IV. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

『環境共生型簡易立坑掘削システム』の研究成果について発表を行いました。

## 自然共生技術委員会

### 1. 活動方針

建設工事と自然との関わりについて調査研究をおこない、自然共生に関する知識や技術の向上を目的として活動をおこないました。

### 2. 活動内容

#### I. 概念「グリーンインフラストラクチャー」の考え方の理解

平成27年に国の施策に位置付けられた自然の持つ多様な機能を積極的に活用した社会資本整備や土地利用、管理の概念「グリーンインフラストラクチャー」の考え方を理解し、自然共生の視点から研究に取り組みました。

平成30年5月16日に、揖斐郡大野町の道の駅「パレットピアおのおの」にてインフラ整備として非常時には広域防災拠点としての役割を併せ持つ道の駅工事現場の研修、そして道の駅オープン後の10月23日には場内整備の植生等の経過観察や施設の見学をおこないました。

## II. 技術発表会（当協会主催）への参加

『グリーンインフラについて～新しいインフラ整備の考え方～』と題して発表をおこないました。

## III. 建設技術講習会への参加

可児工業高等学校 建設工学科1・2年生27名を対象に、『地域を守る建設業～防災と豊かな自然との共生のために～』というテーマで講習を行いました。高校生に対しわかりやすく、建設業が地域の安全や環境を守るために大いに活躍し、大切なやりがいのある仕事であることを強調して、建設業という進路を積極的に検討するべく講習を行ってまいりました。

## 安全・環境委員会

### 1. 活動方針

社会基盤整備・維持管理の担い手として、労働安全・環境の改善策の提案・指導、意識の向上及び自然環境問題への対応・改善を目的に活動致しました。

### 2. 活動内容

#### I. 安全環境パトロールを実施

安全対策、省資源・省エネルギーへの取り組み、環境汚染の防止対策、自然環境への取り組み等をチェックシートに基づき指導・改善を行いました。

#### II. 合同安全講習会に参加

労働災害の防止についての研修を行いました。

- III. 各種環境フォーラム等への参加  
建設技術フェア2018 in 中部へ参加し、安全・環境対策の知識向上を図りました。
- IV. 建設技術講習会への参加  
岐阜大学工学部 社会基盤工学科2年生62名を対象に『現場における安全と環境に対する取組み』というテーマで、講習を行いました。
- V. 技術発表会（当協会主催）への参加  
『現場における安全と環境に対する取組み』の発表を行いました。
- VI. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加  
各構成団体が行った研究成果にて知識の向上を図りました。

## 企画広報委員会

### 1. 活動方針

各委員会における研究・開発の成果を研修会等の企画・開催をすることにより建設産業の役割、地域の基盤整備に貢献・社会のニーズに応えるべく活動をしてまいりました。

また、公益法人としての事業目的の一つとして「学校関係者及び生徒に建設技術の素晴らしさを広く学ぶ機会を創出する」ことの趣旨に則り、各委員会から建設系学校に講師を派遣し、建設技術講習会の開催をしました。

### 2. 活動内容

#### I. 技術発表会（当協会主催）への参加

平成30年8月8日に開催された技術発表会へ参加しました。

#### II. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

平成30年11月27日に岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催された研究発表会へ参加しました。

### Ⅲ. 自由討論会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

平成31年1月31日に岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催された自由討論会へ参加しました。

### Ⅳ. 建設技術講習会の開催

1) 日時：平成30年10月16日

対象：岐南工業高等学校 土木科1・2年生78名

講義：下水道技術委員会・橋梁技術委員会

2) 日時：平成30年11月12日

対象：岐阜大学工学部 社会基盤工学科2年生62名

講義：トンネル技術委員会・安全環境委員会

3) 日時：平成31年1月24日

対象：可児工業高等学校 建設工学科1・2年生27名

講義：ダム技術委員会・自然共生技術委員会

4) 本講義前に「建設業のしくみ」と題し、実社会での【土木工事・建築工事】、【公共工事・民間工事】等の分類説明、また【発注機関・設計会社・施工会社】の係わりを分かり易い言葉で説明しました。

5) 岐南工業高等学校・岐阜大学では、第二部 会員企業の取組事例『建設業の魅力～広がる活躍の場～』と題し、女性技術者から見た建設現場の就業状況を説明しました。

6) 可児工業では、第二部 会員企業における技術者の事例報告『若手技術者がホンネで答えます！』と題し、20代の若手技術者3名が、学生からの質問に本音で答弁しました。

### Ⅴ. 広報活動の実施

パンフレットの作成・ホームページの運用による、各委員会の活動・研究成果等の広報活動に努めました。